

事業名

西陣・東陣固有の文化ふれあい体験

実施団体

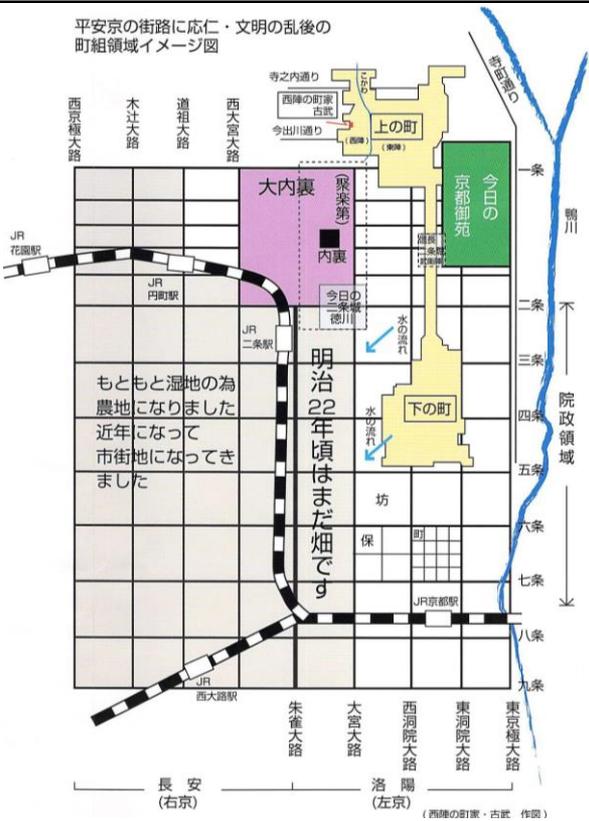
NPO法人

京・ものづくり塾和らいふ

開催日時 9月30日(日) / 10月28日(日)
午前10時～午後4時

開催概要 日本の歴史は京都抜きには語れません。京都の歴史は上京抜きには語れません。そんな1220年悠久の営みの中で、天皇・貴族・武士・文化人を魅了し続けた匠の技その歴史を共に学び体験してみました。

実施団体 伝統地場産業にかかるものづくりの優れた技術の保存と普及、人材の育成等の振興事業に取り組み、和の文化、技術を醸し出す産業を通して、地域経済及びまちの創造と発展に寄与する事を目的として、織・染職人、学者、研究者、地域住人等によって構成されているNPO法人で平成17年5月に結成しました。



洛中洛外の由来



町内名:生産力の向上、商品の誕生、平和の到来、原民の抬頭、面から通りの単位へ1200年の営みの中から名称(社寺や神仏 その所在地及びその方面 邸宅や人名 景観 戦 縁起 等々)

歴史を学ぶことは過去、現在、未来を今のこととして捉え、平和な暮らしと社会の実現へ向けた探求を試みる未来学です。



地元紙も報道して下さいました。↑

← 京都市街地の形成と上京・町の魅力「座学」時の配布資料の一部。

書道

会場となった大宮³ 辻の地は、平安時代の公卿・藤原行成が1001年に創建した世尊寺の跡地にあたります。行成は権大納言まで昇進し、「日本書道の太祖」として尊重され、後世諸流の源・世尊寺流の始祖であった事に思いをさせ、書の体験をしていただきました。

指導は、上御霊神社や上賀茂神社等の高札を書かれている酒井光象さん。



組紐

京の伝統工芸・飾り結びを生業とされながら、京の文化やしきたりを国の内外に発信されるセンターとしての「鳴橋庵」を主宰されておられる鳴橋明美さんから「古代・飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・安土・桃山・江戸・明治・大正・昭和・平成」へと続くそれぞれの時代の組紐の作品を大型スクリーンに投影しながら解説していただいたあと、体験の指導を受けました。



織

江戸時代大宮通の上立売通から南へ笹屋町通までは、糸屋町八町と呼ばれていました（北から「樋ノ口町・芝大宮町・観世町・五辻町・桜井町・元北小路町・薬師町・北御門町」）。この催し会場は芝大宮町にあります。かつて糸問屋が軒をならべ、西陣地域（北は今宮御旅所、東は堀川通、西は七本松通、南は一条通以北）の160余町内の織屋さん達に生糸を分配し織物に仕立てあげられていました。西陣織伝統工芸士の松下嵩さんにより、産地として発展してきた歴史的解説と織機による体験指導をしていただきました。



サブ企画

展示 絵画「西陣」伝えたい建物 連佛 了氏
 実演 西陣が生んだ点描家 浅野 紘史氏
 和風アイシングクッキー体験 西井 利加氏

